

令和4年度 ボランティア活動報告書

なぎさの和



社会福祉法人東京栄和会 なぎさ和楽苑

ご挨拶

地域に開かれた施設として江戸川区有地の無償貸与の恩恵の下に開設した当苑は、この地で42年を迎えることができました。高齢者福祉の地域拠点を目指して、ネットワーク作りを推進し、地域とともに歩む姿勢を大切に取り組んでおります。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、入居者にとっても不安な日々を過ごしながら、長期間にわたる感染予防対応を強いられる事態が続きました。



コロナ禍以前、当苑には小さなお子さまから高齢者まで、幅の広い方々とのふれあいも多く、ボランティア活動においては、延べ5000名を超える方々にご支援をいただきまいました。感染対策の中、ボランティアの皆様への活動にも一進一退の状況でご迷惑をおかけしたにも関わらず、多くのボランティアの皆様が当苑の活動に戻ってきていただいたことは、本当にありがたく感謝の念に堪えません。入居者をはじめ、在宅サービスご利用の皆様にとりましても、潤いとやさしさあふれる時間をお過ごしいただくことが再び実現できています。ボランティアの皆様にご当たり前のようにお会いできていたことがそうではなくなった期間を経験し、その貴重なひと時が戻ってきたことに入居者も職員も喜びを感じています。

そのようなコロナ禍で行ってきた新たな取り組みである「オンラインボランティア」では、昨年度に続き令和4年度も公益財団法人キリン福祉財団様より助成を受け、ボランティアの方々にご協力いただき新たなつながりができました。インターネット環境を活用し直接対面しなくても、画面上で会話のキャッチボールができることは、コロナ禍で得られた新たなボランティア活動の一つとして広がりを見せています。

また、なかなか対面が叶わない中でも、限られた行事へのご協力にも快くお引き受けいただき、昨年度からは一歩前進して創意工夫を凝らした活動には、入居者のみならずご家族も喜んでいただくことができました。これまでと変わらず我が事のように当苑を考えていただけていることに、ボランティアの皆様をはじめ、地域の方々に支えられている施設であることを強く実感しています。

これまで通り安心してボランティア活動ができる環境を整え、入居者の皆様の笑顔が見られるように願いながら、お一人おひとりのご奉仕活動に感謝を込めて、令和4年度のボランティア活動報告書をまとめさせていただきました。

人と人との支えあい、そして多くのご縁を大切にしたい施設であり続けられるよう職員一同、邁進してまいります。

社会福祉法人東京栄和会 **なぎさ和楽苑**

苑長 **池田 めぐみ**

ボランティア活動報告

令和4年度の夏季より間接的な関わりのボランティア活動の再開ができませんでした。

フロア援助 ボランティア

「ご入居様が慣れ親しんだ食器をいつまでも使っていただきたい!」と、その思いを大切にいつも丁寧に洗ってくださっています。その他、居室の清掃から車椅子と隅々まできれいに掃除をしていただき、施設内の環境整備に貢献していただいております。



写真はスタンダードチャータード銀行の皆様

園芸 ボランティア

和楽苑の5階には平和菜園があり、多くの野菜を育てています。ご利用者の余暇支援として野菜を収穫し召し上がることも! また、定期的に苑周辺の草刈りを実施、環境の整備にも大きく貢献していただいております。



写真はボランティア団体たんぼ様による苑周辺剪定時の様子

シーツ交換 ボランティア

「1床でも多く」力を合わせ、手際よくかつ丁寧な手さばきで交換をする姿にいつも感動です。ご入居者様の生活の質の向上に大きく貢献していただいております!



写真はボランティア団体なぎさグループの皆様

お掃除 ボランティア

ご入居者様の整容品の手入れをしてくださるボランティア活動です。「長くいつまでも使えますように」と、普段目の行き届かないところまできれいに手入れをしていただいております。



裁縫 ボランティア

利用者の名前付けや衣類の補修等、一つ一つ丁寧に繕い物を施していただいております。細かなニーズに対応していただき、いつも本当にありがとうございます。



* ボランティアの皆様より *

一日も早く元の活動ができるようになってほしい!

ボランティア活動が日々の日課になっていたので再開してほしい!

ご入居者様とまた会える日を楽しみにしています!

他にも再開を希望されるお声をたくさんいただきました。

たくさんのボランティアの皆様のおかげでなぎさ和楽苑は成り立っているのだと改めて実感しました。本格的な活動の全面再開に向けて段階的ではございますが、今後も受け入れ態勢を整えてまいります。ボランティアの皆様のご支援に心より厚く御礼申し上げます。

洗濯物 ボランティア

地下1階の洗濯場でのボランティア活動です。各階のご入居者様の衣類をとて丁寧に畳んでくださっています。和気あいあいと会話をしながら行えるのも、このボランティア活動の魅力です。



地域交流

コロナ禍により、若年層との関わりが減少している中で、新たな形での関わりを模索し交流することができました。



チャレンジ
ザ・ドリーム
職場体験



写真は清新第一中学校のみなさん

昨年度は8校の25名の中学2年生の生徒が夏から冬にかけて職場体験に来られました。高齢者疑似体験や認知症の勉強を通し、「福祉の大切さ」について学びました。



写真は松江第四中学校のみなさん

臨海小学校
3年生の皆様との
リモートを活用した交流



この日のために一生懸命考えた出し物を披露していただき、ご利用者様はとて喜ばれておりました。コロナ禍から発展した交流方法であり、IT化が進む現代ならではのアイデアです。



近隣保育園
との交流

地域の保育園の園児の皆さんより、苑を利用されている皆様へと、素敵な装飾品をたくさんいただきました。当苑からも園児の皆さんにお返しをプレゼント。交流の方法も対面が全てではないとの気づきがありました。



他にも、不二聖心女子学院様をはじめ、多くの皆様からご寄贈いただきました。コロナにより、直接はお会いできなくても、関係を継続させていただいていることに感謝いたします。

生活と心に潤いを...

園芸 ボランティア

山澤 繁子さん



園芸ボランティアとして活躍してくださっている山澤さん。ボランティア活動を始めて今年で10年目となるそうです。山澤さんの活躍で当苑の5階ベランダにある平和菜園や、苑周辺の環境は常に綺麗に保たれています。

菜園における活動では四季を通して育てる野菜や草花も変わる中、季節を感じる旬な物をと、こだわりを持ち畑の整備に貢献していただいております。菜園の野菜と花たちはご利用者様の余暇支援としても一役買って、水やりから収穫、収穫したものを食べるなどのイベントも開催。都会ではなかなかできない貴重な体験ができ、ご利用者様の生活に彩りを添えています。

そんな山澤さんが活動を通して伝えたいことが「生き物の大切さについて」であると教えてくださいました。緑は癒しの効果があると言われております。ご利用者様だけでなく職員の癒しとしても平和菜園は大きな役割を果たしてくれています。

いつまでも美しい緑とご利用者様の生活に花を添え、保ち続けていきたいです。

菜園が趣味の方、ご興味のある方はぜひ、ボランティア担当までお問い合わせください。

日々心を込めて
お世話をしています



麒麟福祉財団助成金事業



令和4年度も公益財団法人麒麟福祉財団「令和4年度麒麟・地域のちから応援事業」の助成を受け、地域の皆様とオンラインボランティア活動の幅を広げることができました。前年度の活動を進展させ、今回は地域の皆様がどなたでもオンラインボランティアに挑戦できるように「オンライン体験教室」を企画に取り入れて広告を作成。地域の皆様に発信いたしました。

体験教室ではオンラインボランティア入門にあたり、活動内容の説明から、パソコンなどの機器の使用方法についても詳しく説明。実際にZoomを活用した実践的なレクチャーも取り入れ、パソコンが苦手な方でも身近に感じていただけるようご案内しております。体験教室を通し活動に繋がったボランティアの方もいらっしゃり、継続して活動を続けていただいております。

また、今年度はいただいた助成金を活用しノートパソコン、タブレット端末を購入。機器をお持ちでない方でもオンラインボランティアにチャレンジができるよう貸し出しを始めました。

これからも、少しでも多くの方にオンラインボランティア活動を知っていただくとともに、教室を通して情報社会に取り残されないITに強い街づくりに注力を注いでまいりたいと思います。

ご支援いただきました地域の皆様、そして麒麟福祉財団の皆様へ心より厚く御礼申し上げます。

公益財団法人 麒麟福祉財団 地域のちから応援事業
The KIRIN Welfare Foundation

初心者の方でも安心！簡単！！

オンラインボランティア体験教室

開催中

機材の貸出も可能です(無料)

オンライン体験教室お申込みについて
Step1:電話又はメールにてお問い合わせください。
Step2:日程調整を行った後、ご来館いただき体験教室を開催致します。

内容:オンラインボランティア活動の紹介
オンライン機器の取り扱い方法のレクチャー、機材の貸出について等、わかりやすくご説明いたします！

機材の貸出について(事前予約制)
※他の方に貸出中の場合はお待ちいただく場合がございますので予めご了承ください。
パソコン/タブレットWi-Fi/タブレット端末

教室後の活動イメージ
経験ボランティア、体験、実務の演習 ※皆さまのご希望に合わせた活動をご相談させていただきます！

オンライン体験教室からボランティア活動につながった皆さまの声
✓事前にレクチャーを受けられる為、自宅でも安心して活動が出来ます！
✓遠く離れた場所から出前さんと交流が出来ます！
✓コロナで中断していたボランティアを再開しました！

お問い合わせ先 03-3675-1201
volunteer@tokyoeiwakai.or.jp



オンラインボランティア活動記録

令和4年度も多くのボランティアの皆様にご活動いただきました。さまざまなプログラムを披露していただき、ご利用者様との交流を通し、新しい形での繋がり場を創出することができました。

オンライン傾聴ボランティア

お話が大好きなご入居者様。「いつも本当に楽しみにしています」と、うれしいお言葉をいただきました。



バーチャルトリップ

浅草の浅草寺やスカイツリーを巡る旅をオンライン上で体験できるワクワクするプログラムです。



笑いヨガ

「わははは」と笑いながらストレッチを行うことで、心も身体も気分爽快に！参加された皆様の笑顔が印象的でした。



サタデーネット

オンラインで初挑戦。パネルシアター、ハンドベル、紙芝居など多種多彩な演目をご入居者様へ披露していただきました。





ボランティアさんの声

あしたばボランティア9年目に寄せて

山岸義也さん



「傾聴」で人を支援する活動ができたなら、との思いから、若年性認知症当事者の通所型サービス「フリーサロンあしたば」のお手伝いに参加させていただきました。報道番組でにわかにならなりました。若年性認知症支援の活動に、不十分な知識のまま飛び込み、ご本人や介護しているご家族に接する中で基本的な知識を学ばせていただいているのが実情です。

家族会・あしたばカフェへの参加を活動の中心とする今、若年齢の発症でご本人やご家族が想像を超えたご負担ご苦勞を余儀なくされる経験談をお聞きしては、「自身はこの場で何か役に立っているのか？」との自問は巡ります。「共

に悩み、笑い、過ごし、気付きを分かち、ご本人やご家族に、あくまでも自分らしさを追求していただく関わり方には、それなりの意味はあるのかもしれない。関わる方々が浮かべられる笑顔を拝見してはそう感じています。その時々、自ら担える役割と持続可能な関わり方を見つけられたことが嬉しい、はや9年になろうとしています。

支援という枠を超えて、「身体が動く限り、共生社会の実現を共に目指す旅をこれからも続けたい」と思っていること自体が、自らへの「答え」なのかもしれません。

「あしたば会」のボランティア活動11年目に突入

足立静子さん



私になぎさ和楽苑の「若年性認知症あしたば」でボランティアを始めて、11年目に入りました。2013年若年性認知症家族会「あしたば会」の記録係から始まり、2015年からは「あしたばカフェ」の運営にも参加しています。どちらの会も参加する方々が気軽に悩みを相談できる場、他の方々から経験談を聞くことができる場、勉強会で情報を共有できる場を目指し、会の終わりには参加した皆様が少しでも心身ともに軽くなっていたことを心がけています。

コロナ禍で会はオンライン開催となり、ご家族の表情

や声のトーンなどから伝える訴えやニーズなどが対面とは異なり受け止めることが難しくなりました。現在、徐々に定例会・カフェの開催は対面に戻りつつあり、今後はバスハイクやランチ会など直接お会いする活動が再開できればと願っています。

私がボランティアとして心がけていることは、「興味本位の質問をしない」、「自分はなるべく話さず相手の方の話を聴く」、「専門職が行うような診断や判断など結論づけない」、「自分の物差しで決めつけない」などです。基本的なことですが、長い間活動しているとどうしても忘れがちになります。

これからもニーズに合った会の開催をご家族、職員の方たちとボランティア全員で目指すとともに私自身もボランティアとして成長を続けたいと思います。



ボランティア紹介

オンラインコンサートプログラムを展開

行田 詠之介さん

皆さま初めまして。私は石川県出身の行田詠之介と申します。私は障がい者就労支援継続B型に勤めておりまして、野菜などの収穫・出荷作業、草刈りなど主に農業の仕事をしています。

大好きだったおばあちゃんが、小学4年生頃に亡くなってしまいました。大好きだったおばあちゃんに恩返しをしたいのと、僕の得意な歌で、元気な笑顔を届けたいと思い、ボランティアを始めました。

今までは、施設を訪問しながらコンサート(ボランティア)をしていたのですが、新型コロナが広がり、訪問が中止に。中止してから2年後の冬頃に、「オンラインを使いながらのボランティア」というネット記事を見て、自分でもやってみようと思い、オンラインボランティア活動に参加しました。

以前は、近所のカラオケボックスの中からオンライン配信しながらボランティア活動(歌)をやっていたのですが、インターネットの環境がとても悪く、途中で止まるのが何回もありました。そこで改善策として事前収録を行い歌のパートを動画として流し、曲の紹介や会話はオンラインを通じてその場で交流ができるよう工夫しました。動画作りにもこだわりがありまして、自分自身が納得いくまで撮り直すこともあります。初めは、いくつか失敗もありましたが、回を重ねていくうちに、歌がどんどん上手になり、歌うレパートリーが増えていきました。高

齢の方がよくご存じの歌や童謡・唱歌、リズム体操(座ったままでできる体操)を盛り込んだオンラインコンサートと題したビデオです。

今年で、ボランティア活動を始めてから10年になります。少しずつですが、ボランティア活動の受け入れを再開する施設を訪問してみたいなと思います。また、オンラインコンサート(オンラインボランティア活動)は、皆さまに元気な姿や笑顔を届けられるよう、仕事と両立をしながら、これからも続けていきたいと思っています。今後ともよろしく願っています。



オンライン傾聴ボランティア

山本 あゆみさん

コロナ禍で施設にお世話になっていた母が、面会を許されず、慣れない環境での不安や寂しさで落ち着かない状況になっていました。誰もが先の見えない手探りの中、オンライン面会が許され、週1度15分という短い時間ではありましたが、そのわずかな時間はほんの少し母に穏やかな時を与えてくれました。自由のない閉鎖された空間はどれほど心細く行き場のない想いだったことだろう…。当たり前であった日常は決して当たり前でなく、人と関わることの大きさを痛感させられました。母だけではない。それが一番私の根っこにあるもののような気がします。

対面の個人傾聴とは基本的に違い、その場の空気感や温度など傾聴する上で大きな情報になることがつかみにくいということは確かにあります。個人傾聴という形を基準と考え、正直なところ疑問がないわけではありません。「これでいいのか?これで傾聴と呼べるのか?」等の迷いもありました。ですが、回数を重ねていくうちに、形にこだわらず、今一緒にさせていただけるこのご縁を大切にしたいと思いました。

私はLINEすらできていない機械音痴です。…が、ボランティア担当の中村さんに丁寧にご指導いただき、初期の設定を娘に頼みました。後は送られてき

たメールでZoomにアクセスして、傾聴活動を続けられています。

実際に活動してみると、個人傾聴とグループ傾聴との間のような感じです。専任のボランティア担当の方がいらっしゃるの、傾聴を始められる方にとって入りやすい環境かもしれません(慣れるまでは、個人傾聴の場合は沈黙の魔の時間がネックになる気がします)。

私個人は苦手意識で諦めなくて良かったと思っています。可能性を広げていただき、ありがとうございました。皆様の一步をお待ちの方々がいらっしゃいます。ぜひ、一緒に新たな傾聴を見つけませんか。



長寿を祝う 集い

なぎさ和楽苑の一大イベント「長寿を祝う集い」を開催。感染症対策を講じ各ユニットとリモートを活用し式典の様子をお届けいたしました。

式典では祝賀者、長寿者の皆様をスライドで紹介。そして、毎年恒例の新田太鼓様による演舞をリモートで配信しました。迫力ある太鼓の響きを聴き、ご入居者様は皆、感動なさっていました。素晴らしい演奏を披露していただきありがとうございます。



オンライン 喫茶

9月を「長寿を祝う月間」として設定し、式典とは別の日に、ボランティア団体たんぼ様の協力でオンライン喫茶を開催！ 今回が初の試みということもあり、期待と不安の中ではありましたが、久しぶりの再会にご入居者様もとても喜ばれ、アイスクリームとコーヒーを召し上がりながら交流を楽しまれていました。

オンラインと聞くと一見難しそうに感じますが、視線を変え活用することで、地域と施設を繋ぐことができる、便利なツールとしての利点があることを実感しました。



ボランティアの 皆様からの 贈り物

長寿のお祝いにと、ボランティア団体たんぼ様の皆様が作成してくださった手作りネームプレートと装飾品の四つ葉のクローバーをご入居者様にプレゼント。ネームプレートの作成ではデザインから生地選びまでアイデアを考えながら心を込めて作成してくださいました。

四つ葉のクローバーは、ボランティアさんが一つひとつ探して摘んでくださった物を押し花として加工。「幸せが訪れますように」との願いが込められています。



夏のリモートボランティアに 参加しました！

東京ボランティア市民活動センター主催「夏のリモートボランティア」に参加しました。地域の皆様へ応募を呼びかけた2つの企画「オリジナルフォトフレーム」と、「お祝いのメッセージ動画をプレゼントする」など豪華なラインナップとなりました。

額縁は、イベント時に撮影した集合写真が収められるようA4サイズとなっており、地域のボランティアさんが作ってくださったオリジナルデザインの素敵なフォトフレームがたくさん届きました。お祝い動画ではご入居者様への心温まるメッセージをご家族が撮ってください、元気をいただきました。



入居者様に インタビューしました!

特別養護老人ホーム ご入居者 名取輝子さん

職員 なぎさ和楽苑にご入居されて2年ほど経ちました。今の生活はいかがですか?

名取さん 食事もおいしいし、お部屋からの眺めが良く最高です。何も心配ありません。ありがたいです。

職員 元気で明るく生活する秘訣を教えてください。

名取さん くよくよしても仕方がないので深く考えすぎないようにしています。できることは自分でやって、できないことは職員の方々に助けてもらっています。他にも毎朝のベランダ散歩や、趣味でパズルをやっていますが、頭を使う運動も欠かさず行っています。何より、おしゃべりが大好きで話をするのが元気の秘訣。コロナが治ったら地域の皆様と関わりたいですね。

職員 オンラインを活用しボランティアの方とお話をするようになりましたがいかがでしょうか

名取さん 話をするのが大好きなのでボランティアさんとお会いできるのがとても楽しみです。数名の方と話ができるようになり友達が増え、関係性を深めることができありがたいです。コロナが治ったらお会いしましょうねと約束しています!



都市型軽費老人ホーム JOYなぎさ ご入居者 殿村カヨさん、榑木重代さん、押元陽子さん

職員 お住いになってしばらく経ちましたが、苑での生活はいかがでしょう?

殿村さん 私は北海道で生まれて仕事一筋で80歳まで働いてきました。今は99歳になりますが、元気な気持ちは変わりません。ようやく職員さんとなじみ深く慣れてきましたね。

榑木さん 住み始めておかげさまで7か月になりました、何も不安もなく感謝の日々です。職員さんが優しく丁寧に対応してくださってうれしいです。

職員 コロナ禍で制限がある中ではありますが、何かお困りの事はありますか。

榑木さん ある程度の決まりがあるのは安全に過ごすためだと思います。決まりがあるから些細なことでもうれしく思えるのだと感じています。お部屋でも楽しく過ごせるよう体操をしたり工夫しています。

押元さん 部屋にいるのが嫌なので、買い物へ行ったりしています。最近は苑のボランティアさんと畑で野菜を育てることが日課になっています。

殿村さん 家族から白寿のお祝いをしてもらいました。なかなか会うことがないませんがとてもうれしかったです。

職員 対面での交流がかなわない中、オンラインへ変化していますがいかがでしょうか。

榑木さん 最近の子どもたちはパソコンを使っているんなことができるのは本当にすごいです。

押元さん 旅のプログラムでは沖縄旅行を紹介していただき、とても楽しい時間を過ごせました。沖縄へは訪れたことがないので旅をした気分になりました。



押元さん

～ご入居者様の生活と苑内の風景～

コロナ禍により施設内での生活が中心となってしまっている中ではありますが、ご入居者様は穏やかに日々を過ごされております。まだ全面的なボランティア活動がかなわない中ではありますが、受け入れ再開に向けて取り組んでまいりたいと考えております。皆様のご来苑を心よりお待ちしております。

桜を眺めながらおいしいケーキと アフタヌーンティーで穏やかなひと時!



企業ボランティアの皆様から 天然木のお箸をご寄贈いただきました!



オンラインレクリエーション参加 ストレッチ体操&演奏プログラム



専属の先生が毎月1回活動を行ってくださっています。他施設との合同開催もあり、ご利用者様同士の交流も楽しみの一つです!

季節に合わせた装飾品も展示!



ご入居者様に四季折々季節感を感じていただくことも大切ですね。

大規模改修工事を行いました!



ユニットの床をリニューアル。暖かな色合いの木目調で歩き心地がとても良いです!

大正琴の演奏に 合わせて歌と踊りを!



琴の音色が美しいと皆様いつも楽しみにしています。

都立紅葉川高校メイプル部

第71回東京都社会福祉大会 東京都社会福祉協議会 会長表彰を受賞

2022年12月23日、東京都庁第一本庁舎で東京都社会福祉大会が開催されました。東京の社会福祉の発展に功績のあった694名(団体)に、東京都社会福祉大会知事感謝状、東京都社会福祉協議会会長表彰状・感謝状などが贈呈されました。

その中で、当苑と関わりの深い「都立紅葉川高校メイプル部」の皆さんが、長年にわたる高齢者向けイベントの補助、地域イベントへの参加など、さまざまなボランティア活動の功績が認められ、東京都社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

今回はメイプル部顧問の山中悠香先生と部長の八巻彩夏さんに活動についてお話をうかがいました。



山中先生 八巻さん

都立紅葉川高校となぎさ和楽苑との関わり

都立紅葉川高校の皆様との交流は昭和61(1986)年12月に同校が日本橋・兜町から江戸川区へ移転後に遡ります。今日に至るまでの交流の中で、季節ごとに行われるイベントのお手伝いや、夏休みのボランティアサマーキャンプへの参加等、様々な形で関わっていただいています。

近年では江戸川区の委託事業である、地域の方に向けたスマートフォン教室に講師として参加していただくなど、幅広く活躍くださっています。



メイプル部紹介

都立紅葉川高校メイプル部には、現在8名が所属しています。メイプルは学校名の「もみじ」を表すと同時に、「Multiple Activities of People Living on the Earth」(地球に生きる人としての様々な活動)の頭文字をとった言葉でもあります。高齢者向けイベントの補助、地域イベントへの参加など、様々なボランティア活動を行っています。

メイプル部活動紹介

ペットボトルキャップ回収

「エコキャップ推進活動」に参加され、学校内で集まったペットボトルのキャップを収集している様子です。



ハウセンカ栽培

「江戸川区景観まちづくりワークショップ みどり活動グループ」と連携。ハウセンカを種から育て、東京オリンピックのカヌー・スラローム競技会場となった左近川の緑道に苗を植える活動の風景を収めた一枚です。満開のハウセンカで来場される皆様をおもてなしました。



スマートフォン教室

地域の熟年者の皆様にスマートフォンの使い方を教える活動となります。地域課題に向けた取り組みにも積極的に参加いただいております。



地域行事

なぎさ和楽苑最大のイベントである秋まつりに参加いただき、手作り団扇の寄贈や、模擬店での調理・販売補助に携わっていただきました。



顧問 山中悠香先生 より

都立紅葉川高校メイプル部顧問の山中悠香と申します。私がボランティアに関心を持つようになったのは大学生のときです。何か人の役に立つことがしたいと思い、献血に行くことになったのですが、「血管が細くて針が刺せない」といわれ、何とも言えない悲しい気持ちで帰ったことを覚えています。そこからたどり着いた私のボランティアは、「ヘッドネーション」です。髪が伸びるのには時間がかかるため、今では自分のオリンピックとして数年おきにバツサリ切っています。

メイプル部顧問になって思うこと

メイプル部顧問になり、今まで実生活で行ってきたボランティアを仕事と結びつける時が来た実感しました。とはいえ、生徒にヘッドネーションをさせているわけではなく、スマホ教室やイベントのお手伝いなど、無理のない範囲で楽しく活動しています。

生徒について

都立紅葉川高校の生徒はとても素直で、気持ちよく挨拶ができます。特にメイプル部員は、相手の立場に立って物事を見たり、相手が欲していることを的確に捉えたりする力を、日頃の活動を通して身につけている様子です。

今までの活動・これからについて

コロナを通して、ボランティア活動がどれだけ人と人を強く結びつけていたのか、どれだけ多くの人が関わってきたのかということを実感しました。生徒には、持ち前の人柄を発揮して地域社会から必要とされる存在になってほしいです。

部長 八巻彩夏さんより

都立紅葉川高校メイプル部部長の八巻彩夏です。私は誰かのために何かをやり遂げることが好きで、メイプル部に所属しています。部員も積極的にボランティア活動に取り組んでおり、活発な部活動です。

社会福祉大会表彰式の日、他団体の方と世間話をしてから活動報告を読み始めました。今私の目の前にいる方が、社会のため、人のために日々活躍なさっていることを知り、普段何気なくお話ししている人もここにいるかもしれないと考え、感慨深く思いました。どこかにいる「貴方」のために、私も日々努力を続けようと思いついた瞬間でもありました。

最近、進路活動が身近に迫ってきました。今後も様々な形で、福祉活動に取り組んでいきたいと考えています。



糸の会様
特集

活動の様子を



葛西真知子さん

佐藤朱美さん

河野節子さん

密着取材 しました!

今回は長年にわたり、当苑にお住まいのご入居者様の縫い物ボランティアをしてくださっている「糸の会」様の活動風景をのぞかせていただきました。

現在は佐藤さん、葛西さん、河野さんの3名でご自宅で活動されています。名前つけから、ほつれの補修、ウエストゴムの入れ替えまで、どんなことにも丁寧に対応してくださり、「少しでも長く自分の慣れ親しんだ服を着続けてほしい」。そんなご入居者様への想いを込めて、ひとつひとつ丁寧に縫い物をしてくださっています。

時にはオリジナルの介助用エプロンを作ってくださいなど、「あったらいいな」という職員のイメージを形にするプロ顔負けのクリエイティブな発想力と、仕上がりのクオリティの高さに驚かされます。

皆様いきいきと活動なさっていて、そのエネルギーに私たちが元気をいただいております。いつも本当にありがとうございます。



手作りエプロンができるまで



型に合わせて
布地をカット



裏地にアイロンがけも
丁寧に!!



世界に
一つだけの
エプロンの
完成です!



裏地と合わせて
ミシンで縫製

なぎさ和楽苑

公式 SNS の紹介

当苑では公式SNSを開設しました。
定期的に最新の情報を地域の皆様に発信しておりますのでぜひご覧ください。

Instagram

苑内の行事や取り組み、ボランティアの皆様の活動報告等を投稿しております。

アカウント名@nagisawarakuen



こちらから
フォローを
お願いします!



YouTube

「なぎさ和楽苑特養職員の日【前編】・【後編】」
や「福祉用具紹介動画」、「介護の日記念コン
サート」等を配信しています。



チャンネル
登録は
こちらからどうぞ!



ボランティア活動実績

敬称略

(延べ人数)

| 氏名 | 内容 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------------|-----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 浅野 智美 | フロア/オンライン | | | 1 | 6 | 7 | 1 | | 3 | 2 | | 4 | 5 | 29 |
| 浅野 真帆 | フロア/オンライン | | | | 1 | 5 | | | | | | | | 6 |
| 足立 静子 | あしたば | 2 | | 2 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 12 |
| 阿部 仁 | あしたば | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 糸の会 | 繕い物 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | | 6 | 6 | | 6 | 6 | 6 | 60 |
| 歌声談話室 | オンライン | 4 | 5 | 4 | 4 | 4 | | 4 | 4 | 4 | 5 | 4 | 5 | 47 |
| 岡本 珠枝 | 洗濯物 | | 3 | 5 | 5 | 5 | 1 | | 4 | | | 4 | 5 | 32 |
| 小野 一己 | 行事 | 2 | | | | 3 | 1 | | | | 1 | 2 | | 9 |
| 小川 章代 | オンライン | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 川合 利幸 | オンライン | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| 行田 詠之介 | オンライン | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 4 |
| 工藤 恵美 | 洗濯物 | | 2 | 2 | 3 | | | | | | | | | 7 |
| 小池 和彦 | あしたば | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | 1 | | 4 |
| 小坂 成子 | 演奏 | 1 | 2 | 3 | 4 | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | 3 | 3 | 1 | 29 |
| 小越 美子 | フロア | | | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | 4 |
| 近藤 志満 | 園芸 | | | | 6 | | | | 3 | | | | | 9 |
| 近藤 詩織 | 園芸 | | | | 2 | | | | | 1 | | 1 | 1 | 5 |
| 篠原 拓生 | 落語 | | | 3 | | 3 | | | | | | | | 6 |
| Shin-Chan | コンサート | | | | | | | | 4 | | | | | 4 |
| 新田太鼓 | 行事 | | | | | | 15 | | | | | | | 15 |
| 芹川 令子 | あしたば | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 関口 悦子 | オンライン | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 瀬戸口 詩音 | フロア | | | | | 2 | | | | | | | | 2 |
| 玉井 颯 | シーツ交換 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | 3 |
| たんぼぼ | 行事・フロア | | | 21 | 59 | 35 | 18 | | 22 | 12 | 9 | 24 | 43 | 243 |
| 谷口 厚子 | フロア | | | 2 | 4 | 3 | 2 | | 1 | 1 | | | | 13 |
| 戸谷 奈都子 | 洗濯 | | 1 | 4 | 1 | | | | | | | | | 6 |
| なぎさグループ | | | | | | | | | | | | | | |
| ・佐々木 和子 | シーツ | | | 1 | 5 | 2 | | | 2 | 1 | | 1 | 2 | 14 |
| ・島田 光枝 | シーツ | | | 1 | 3 | 2 | 1 | | 1 | 1 | | 2 | 1 | 12 |
| ・山崎 麻衣 | シーツ | | | | | | | | | | | | | |
| ・横内 博 | シーツ | | | 1 | 4 | 2 | | | 1 | 1 | | 2 | 1 | 12 |
| ・吉野 弘子 | 洗濯物 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | 5 |
| ・日比野 由香 | シーツ | | | | 2 | | | | | | | | 1 | 3 |
| ・八代 真 | シーツ | | | 2 | 3 | 2 | | | 1 | 1 | | | | 9 |
| 夏のリモートボランティア | イベント | | | | | | 15 | | | | | | | 15 |
| 林 勝江 | フロア | | | 2 | 2 | | | | | | | | | 4 |
| 長谷川 寛子 | フロア | | | 3 | 4 | 5 | 1 | | 5 | 2 | | 4 | 5 | 29 |
| ハンズオン東京 | 清掃 | | | | | | | | | | 9 | | | 9 |
| 平澤 紀美子 | シーツ | | | 2 | | | | | | | | | | 2 |
| 堀川 昭子 | フロア | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |

| 氏名 | 内容 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|-------------|----|----|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| ホープリング | オンライン | 3 | | 3 | | 3 | | 3 | | 3 | | 3 | | 18 |
| 松田 謙一 | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 三菱UFJ銀行 | オンライン | 25 | | | | | | | | | | | | 25 |
| 三好 作榮 | オンライン | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | | 8 |
| 紅葉川高校 | イベント | | | | 3 | | | | | 5 | | | | 8 |
| 山岸 義也 | あしたば | 2 | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 2 | 1 | 11 |
| 山中 信子 | あしたば | 1 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | | 2 | | | | 10 |
| 山本 あゆみ | オンライン | | | | | 1 | 1 | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 12 |
| Maples | コンサート/オンライン | | | 2 | | | | | | | 2 | 2 | | 6 |
| 合計 | | 49 | 22 | 82 | 134 | 101 | 65 | 23 | 66 | 46 | 40 | 72 | 84 | 784 |

介護サポーター

| 氏名 | 内容 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 施設系 | | | | | | | | | | | | | | |
| 荒川 まき子 | フロア | | | | | | | | | | | 2 | 5 | 7 |
| 大矢 洋子 | シーツ交換 | | | 3 | 4 | 4 | 2 | | 2 | 2 | | 3 | 6 | 26 |
| 小林 日出子 | 洗濯物 | | 2 | 4 | 5 | 4 | 1 | | 5 | 3 | | 8 | 10 | 42 |
| 斉藤 重雄 | シーツ交換 | | | 2 | 4 | 1 | 1 | | 3 | 2 | | 2 | 2 | 17 |
| 佐藤 浩子 | フロア | | | 4 | 4 | 3 | 1 | | 5 | 1 | | 4 | 5 | 27 |
| 中山 玉恵 | 洗濯物 | | 2 | 7 | 10 | 5 | 3 | | 7 | 2 | | | 5 | 41 |
| 西野 小夜子 | シーツ交換 | | | 2 | 3 | 2 | 1 | | 3 | 2 | | 2 | 2 | 17 |
| 畠中 美智子 | シーツ交換 | | | 1 | 5 | 2 | 1 | | 7 | | | 2 | 2 | 20 |
| 橋本 敦恵 | 洗濯物 | | 2 | 4 | 4 | 4 | 2 | | | | | | 6 | 22 |
| 萩原 百合子 | 繕い物 | | | 3 | 4 | 2 | 1 | | 2 | 1 | | 4 | 6 | 23 |
| 諸岡 聖治 | 洗濯物 | | 3 | 5 | 5 | 6 | 1 | | 3 | 2 | | 2 | 4 | 31 |
| 八木 静子 | 行事 | | | | 1 | | | | | | 1 | | | 2 |
| 山澤 繁子 | 園芸 | | 6 | 6 | 10 | 14 | 4 | | 6 | 5 | | 9 | 9 | 69 |
| 吉田 洋子 | 裁縫 | 12 | | | | | | | | | | | | 12 |
| 米村 幸子 | フロア | | | 5 | | | | | | | | | | 5 |
| 生活系 | | | | | | | | | | | | | | |
| 大石 かつ子 | 事務 | | 2 | 4 | 2 | 2 | 3 | | 1 | 3 | 2 | 3 | | 22 |
| 片瀬 悦寛 | 事務 | | 5 | 3 | 7 | 3 | 4 | 1 | 5 | 3 | 3 | 3 | 1 | 38 |
| 林 俊夫 | 事務 | | 3 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 21 |
| 山口 ござ江 | 事務 | | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | 2 | 1 | 1 | | 12 |
| 和田 敦子 | 事務 | | 2 | 2 | 1 | | 1 | 2 | | | 2 | 2 | | 12 |
| 合計 | | 12 | 29 | 59 | 73 | 56 | 30 | 6 | 50 | 29 | 10 | 48 | 64 | 466 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|----|-----|-----|------|
| 一般 | 49 | 22 | 82 | 134 | 101 | 65 | 23 | 66 | 46 | 40 | 72 | 84 | 784 |
| 介護サポーター | 12 | 29 | 59 | 73 | 56 | 30 | 6 | 50 | 29 | 10 | 48 | 64 | 466 |
| 合計 | 61 | 51 | 141 | 207 | 157 | 95 | 29 | 116 | 75 | 50 | 120 | 148 | 1250 |

— 令和5年度活動計画 — 地域と共生する施設へ向けて

地域福祉の拠点として、なぎさ和楽苑はボランティアや地域の活動を支え、また、支えられてまいりました。地域の皆様との交流を基に、情報収集・発信も盛んに行われ、高齢者福祉施設の枠を越え、あらゆる世代、職業の方等との交流も行われております。意図して創るもの、意図せずして創られるもの、各々を貴重な体験としながら、なぎさ和楽苑が地域福祉の拠点となるよう努力を続けてまいります。

1. ボランティア活動

① ボランティアの現状とニーズの把握

新型コロナウイルス対策の制限緩和にともない、地域の活動も活発化しています。高齢者施設での感染対策を継続しつつ、苑内でのボランティア活動の活性化に向けて、体制整備に努めてまいります。ボランティアの高齢化により以前と同じスタイルでの活動が難しい方も多く潜在していると考えられるため、ボランティアの現状や今後の活動に関するご意見をお伺いし、活動再開に向けてプログラムを提案してまいります。心身の不調等によりご相談が必要な場合は、熟年相談室と連携しサポートしてまいります。

② ボランティアとの繋がりを持ち続けるための取り組み

感染症対策の影響により活動が再開できていないボランティアとの繋がりを持ち続けるために、広報誌（年2回）、SNS 発信（Instagram、LINE）により苑内情報等を発信してまいります。また、入居者・利用者との直接的な関わりが可能であるオンラインを通じたボランティア活動等の提案を行い、活動の幅を広げる取り組みを進めてまいります。

※活動を中止しているボランティア：個人約20名 団体約10団体

③ ボランティア交流会の再開

コロナ禍の影響により見合わせていたボランティア交流会について、飲食を控える、2部制にする等の感染症対策を講じた上で再開いたします<予定日2月>。コロナ禍での互いの活動状況や近況を紹介しあい、今後の活動のイメージづくりや意欲を高めていただく機会につなげてまいります。また、活動が再開できていない方へは、再開のきっかけづくりをサポートしてまいります。

④ オンラインボランティア活動の普及

オンライン体験教室を年6回程度開催し、自宅や遠方からでも継続的なボランティア活動に取り組めるよう、サポートを続けてまいります。ボランティア活動再開のきっかけづくりのほか、ボランティア同士のコミュニティーの場の創出にも貢献いたします。

⑤ 新規ボランティア獲得に向けて

新たなボランティア活動として幅広い年齢層に対応できる柔軟性を持ち、ボランティアの獲得に努めます。広報誌やチラシ等での紙面発信とHPやSNS等の電子媒体を駆使し、積極的にボランティア募集活動を行います（一般企業、若年層等）。

⑥ 感染症対策を講じた受け入れ体制の整備

情勢に応じた感染症対策を継続するとともに、クラスター感染等で受け入れを中止せざるをえない事態となった際は、慎重かつ丁寧な対応ができるよう努めてまいります。ボランティアが安全に活動を行えるよう、ボランティア担当職員間の連携を密に図り、体制を整備してまいります。



令和5（2023）年度 ボランティア行事予定表

| 開催期 | 内容 |
|------|------------------------------|
| 5月期 | 清新町・臨海町ふれあいまつり 新田ふれあいフェスティバル |
| 6月期 | ボランティア学習会 |
| 8月期 | 夏休みボランティア体験(地域の中・高生対象) |
| 9月期 | 長寿を祝う集い |
| 10月期 | 江戸川区民まつり |
| 11月期 | 介護の日 |
| 12月期 | ボランティア活動報告書「なぎさの和」発行 |

ボランティア担当職員より

ボランティアの皆様へ感謝を込めて



2階 潮騒・小波

中村 朋樹

なぎさ和楽苑2階潮騒・小波ユニット職員の中村です。昨年度はコロナ禍ではありましたが、ボランティアの方々に大変お世話になり感謝申し上げます。和楽苑でも新型コロナウイルスが発生し来苑されることが難しかったと思います。それでも長寿のお祝いのお品を各々作成いただいたことやお祝いの言葉をいただいたこと、利用者、職員共に感銘を受けました。

今年の抱負は、「新型コロナウイルスを乗り切りボランティアの方々と関わる機会を増やす」です。新型コロナウイルスは5類に移行しましたが、感染力は経験上甘く見てはいけないものだと思っております。なぎさ和楽苑で安全に安心して来苑できる環境を目指せればよいと感じております。

ボランティアの皆様へ伝えたいこととして、なぎさ和楽苑に来られない環境下でもなぎさ和楽苑のことを思ってくださいとありがたいです。利用者職員共に来苑されることを心待ちにしております。

お世話になっております。2階でサブリーダーを担当しておりました、阿戸と申します。昨年もボランティアの皆様には大変お世話になり、和楽苑の入居者、職員一同、コロナに負けず過ごさせていただきました。

コロナ禍では、活動自粛、あるいは制限といった、今までとは違う状況の中、ボランティアの方々に会えないことを悲しみ、またいつか皆様に会える日を待ち望み、またコロナ禍が一日でも早く落ち着くよう願っておりました。コロナ禍でも、裁縫、洗濯物たたみなど、非対面ならではの活動や、オンラインを活用した非接触という新たな試みなど、皆様のアイデアをお借りし、制限された中でも、お手伝いしていただき感謝しております。

完全にコロナが無くなったわけではありませんが、5月ようやく5類となり、徐々にではありますが、以前の時に戻りつつあります。コロナ禍より前のように、入居者、職員も、皆様と一緒に生活、活動できるのを楽しみにしておりました。今年は、失った時間を取り戻せるように、これからもボランティアの皆様にはお手伝いしていただき、入居者も皆様も明るく過ごせる和楽苑になるよう、取り組んでいきたいと思っております。これからもよろしくお願いたします。



2階 汐音・浜風

阿戸 匠

令和4年6月からボランティア担当になりました3階水仙・桔梗ユニットの三浦万里奈と申します。私が入職した際はコロナ禍ではなかったため、ボランティアの皆様がボランティア喫茶や傾聴ボランティアなど、さまざまな場面で活躍されている姿を見てきました。コロナ禍では活動の仕方が大きく変化しましたが、ボランティアの皆様の存在の大きさをとても感じています。活動する中で何でも言ってください!」「できることなら何でもやりますよ!」とボランティアの皆様から言ってくださることがありました。私はその気持ちや意欲・ボランティア活動にかける情熱に日々とても感激しています。私もその情熱に負けまいと頑張っていきます。

徐々にコロナも終息し始めており、できる活動が増えてくると思います。コロナ禍以前のように、入居者・ボランティアの皆様が笑い合いながら交流している姿を早くこの目に焼き付けたいと思っております。皆様の笑顔が私たち職員の活力になります。入居者・職員共に感染予防に努めますので、一日でも早く皆さまにお会いできる日を心待ちにしております。よろしくお願いたします。



3階 水仙・桔梗

三浦 万里奈

皆様こんにちは。3階百合・蘭ユニットでボランティア担当しております齋田と申します。昨年も大変お世話になりました。感染症予防対策も徐々に緩和され、ボランティア活動をされている皆様がなぎさ和楽苑や入居者の方々が暮らしているユニットに足を運んでくださいました。入居者のみならず、私たち職員もとてもうれしく思います。ユニットでは食器洗いや、シーツ交換、お掃除などなど…いつも丁寧に温かな想いのこもったボランティア活動をありがとうございます。今後も、ボランティア活動を通して皆様と笑顔で関われる日を楽しみにしております。

今もまだ、ボランティアの皆様と入居者の方々との直接の関わりができないことが続いております。今後も、感染症予防の制限が少しずつ緩和され、以前のような関わりが持てる日を入居者職員一同待ち望んでおります。今年は昨年よりもボランティアの皆様との交流が増えるのではないかとワクワクしています。いつもなぎさ和楽苑を支えていただきありがとうございます。これからも末永くよろしくお願いたします。



3階 百合・蘭

齋田 梨央



4階 山茶花・花水木

田鍋 美穂

ボランティアの皆様、いつも大変お世話になっております。4Fでサブリーダーをしておりまして、田鍋美穂です。

感染症対応に日々追われながら業務に当たっている今、ボランティアの方々にたくさんの支援をしていただけていることに日々感謝いたします。ありがとうございます。

徐々にコロナも終息しつつある中、ボランティアの皆様との関わりも増えて、来ていただける日を入居者職員一同大変楽しみにしております。ボランティアの方が来苑してくださると入居者の皆様も大変喜ばれます。「今度いつ来るの?」や「次何があるの?」等の声もいただいております。たくさん入居者の方の刺激になっていることは間違いありません。

コロナ前のように喫茶店やイベントごと等が完全に復活しているわけではありませんが、できることからボランティアの皆様と試行錯誤しながら、関わりを持てたらと思います。コロナの前のあの時のように、楽しかった時間が戻って来ることを期待して、入居者、職員一同首を長くして、コロナに負けないように生活していこうと思っております。

それまでボランティアの皆さんも体に気をつけて、会えた時には笑顔でいろんな話をして、楽しい時間を共有していきましょう。



5階 千鳥・鳴

森川 千晶

ボランティアの皆様、いつもたくさんのご支援ありがとうございます。4月より5階リーダーになりました元サブリーダーの森川(高橋)です。

昨年より少しずつではありますが、皆様とお会いできる日が増え、とてもうれしく思っております。フロアで援助していただいた際にお話するたび「これまでのように少しずつ戻ってきたなあ…」と感じておりました。

新型コロナウイルスも5類になり、さまざまなことが緩和されてきたように思います。私共としては以前のように入居者の皆様とボランティアの皆様が触れ合える日々に戻ってほしいなと思っております。少しずつですが、なぎさและ苑でもイベントごとが再開になってきていますので、そう遠くない未来で叶うといいなと願うばかりです。その際はぜひご参加いただき、また皆様のお力をいただきたいです!なぎさ和楽苑の歴史を語る上でボランティアの皆様の存在は切っても切り離せないほど強いものだと感じております。微力ではございますが、これからも活動ができますよう私共もお手伝いさせていただきますので、何かありましたらお話ししてくださいね。

いつもありがとうございます、これからもよろしくお願いたします。



短期入所

鹿野 弾

4階短期入所のボランティア担当しております鹿野と申します。ボランティアの皆様、いつも温かく心優しい活動をしてくださいまして本当にありがとうございます。

短期入所では感染症対策の観点から現場にボランティア様が入っていただくことはまだ難しく、皆様と対面できる機会は減ってしまいましたが、オンライン活動や衣類の繕い、贈り物の制作などを通じて、皆様との繋がりを感している日々です。以前はコロナ関連のニュースが途切れることなく流れていましたが、新型コロナウイルスも5類に移行し、少しずつではありますが日常が戻ってきた様子で、他フロアで皆様のお顔を拝見できる機会が増えてきました。皆様と一緒に活動できる日はきっと近いと思っております!またショートステイで皆様の笑顔とパワーに触れ合える日を楽しみにしております。

また、私に代わり令和5年1月から伊藤サブリーダーが新しく短期入所のボランティア担当になりましたので、併せてよろしくお願いたします。



通所介護

大場 美雪

コロナ禍によりオンラインボランティアが主流となって直接ボランティアの皆様にお会いすることが叶わなくなり3年ほど経ってしまいました。各セクションのボランティア担当が変わっていく中、ふれあい・くつろぎ・あしたばの3カ所の通所介護を担当しております私の方は継続させていただいているため、覚えてくださっている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今年はコロナの制限が大きく緩和されております。当苑でもシーツ交換や洗濯場などのボランティア活動については、やっと再開できるようになってまいりました。他にも地域全体を見ると地区ごとのお祭りや、大きいイベントであれば江戸川区花火大会などのいろいろな催し物が再開しています。以前焼き鳥やビールなどの模擬店を出店し、皆様と盛り上げてきた念願の区民まつりも開催の運びとなり、ようやく皆様とお顔を会わせる機会が増えるのではないかと期待しております。特に区民まつりはコロナ禍以前に私も参加したことがあり、皆様と楽しく過ごしたことを昨日の日のように思い出します。また機会を共にできると思うととてもうれしいです。

すぐに以前のようにとはいかないことが多いかもしれませんが、皆様と一緒に乗り越えていきたいです。これからまた一緒にさまざまな活動を行い、利用者様と共に交流を深めていきましょう。



地域連携推進係

中村 達也

ボランティアの皆様、いつも当苑に温かいご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。昨年よりボランティア担当となりました中村達也です。

担当に就任してから約1年が経過しました。担当前はボランティアさんとの関わりについては苑の内面的な部分でのお付き合いがほとんどでしたが、ボランティア担当を務めるようになり、地域を通じた活動や関わりをもつことに触れ、「ボランティア活動とは何か」改めてその意義や重要性について学んだ1年であったように感じております。また、自分自身の視野が大きく広がり新たな世界を目の当たりにした年でもありました。一番に強く感じたことは、ボランティアさんが活動に注ぐエネルギーの大きさと想いの強さです。誰のために何のために行うのか、ボランティアさんの活動の意味や大切にしていることは一人一人違うことと、その想いが活動の源になっている事実を知り良い刺激となりました。

当苑では「地域と共に歩む」を理念に掲げ、長い歴史の中でボランティアさんと密接な関係を築き、さまざまな出来事を通じて共に協力し合いながら作りあげてきた大切な絆があります。それを今日まで継続し続けていることは、とても素晴らしく意義あることだと、私自身実感することができました。半面、背負う物も大きく、歴代のボランティア担当職員が皆様と築き上げてきた想いを踏襲するには、私はまだまだ足りていない部分が多いと感じています。勉強する毎日ですが、ボランティア担当として皆様の想いにお応えできるような感性を養うとともに、活動を活性化できるよう日々精進してまいります。

現在も部分的な受け入れの中で以前のように全面的な受け入れ体制がまだかなわない状態ですが、この状況下でもできる活動は何かを考え、活動の場を再構築してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。



令和4年度 ボランティア活動報告書

なぎさの和

発行 令和6年1月31日
 発行者 社会福祉法人 東京栄和会 なぎさ楽苑
 苑長 池田 めぐみ

住所 東京都江戸川区西葛西 8-1-1
 電話 03-3675-1201
 F A X 03-3675-1203
 Eメール info@tokyoeiwakai.or.jp
 ホームページ <https://www.tokyoeiwakai.or.jp>
 制作 株式会社 明光企画 (047-396-2211)

